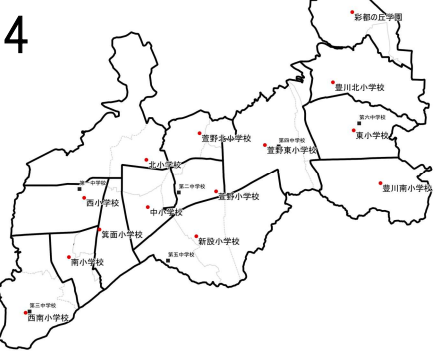
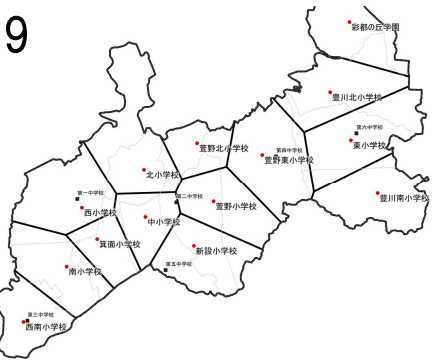
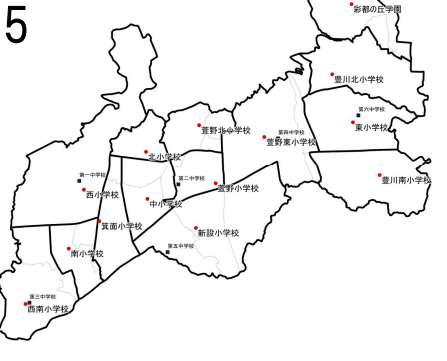
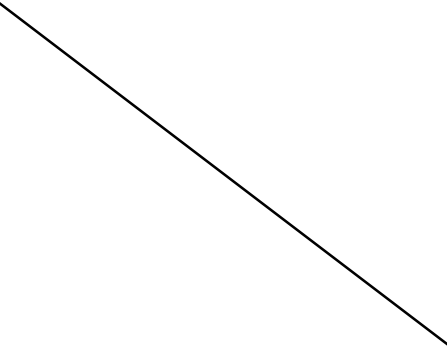
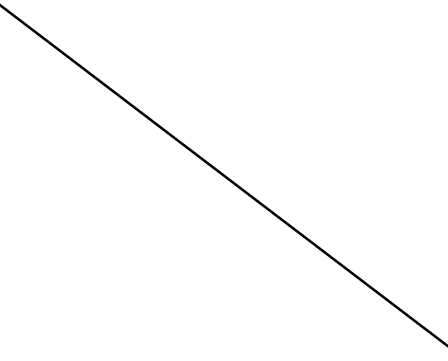


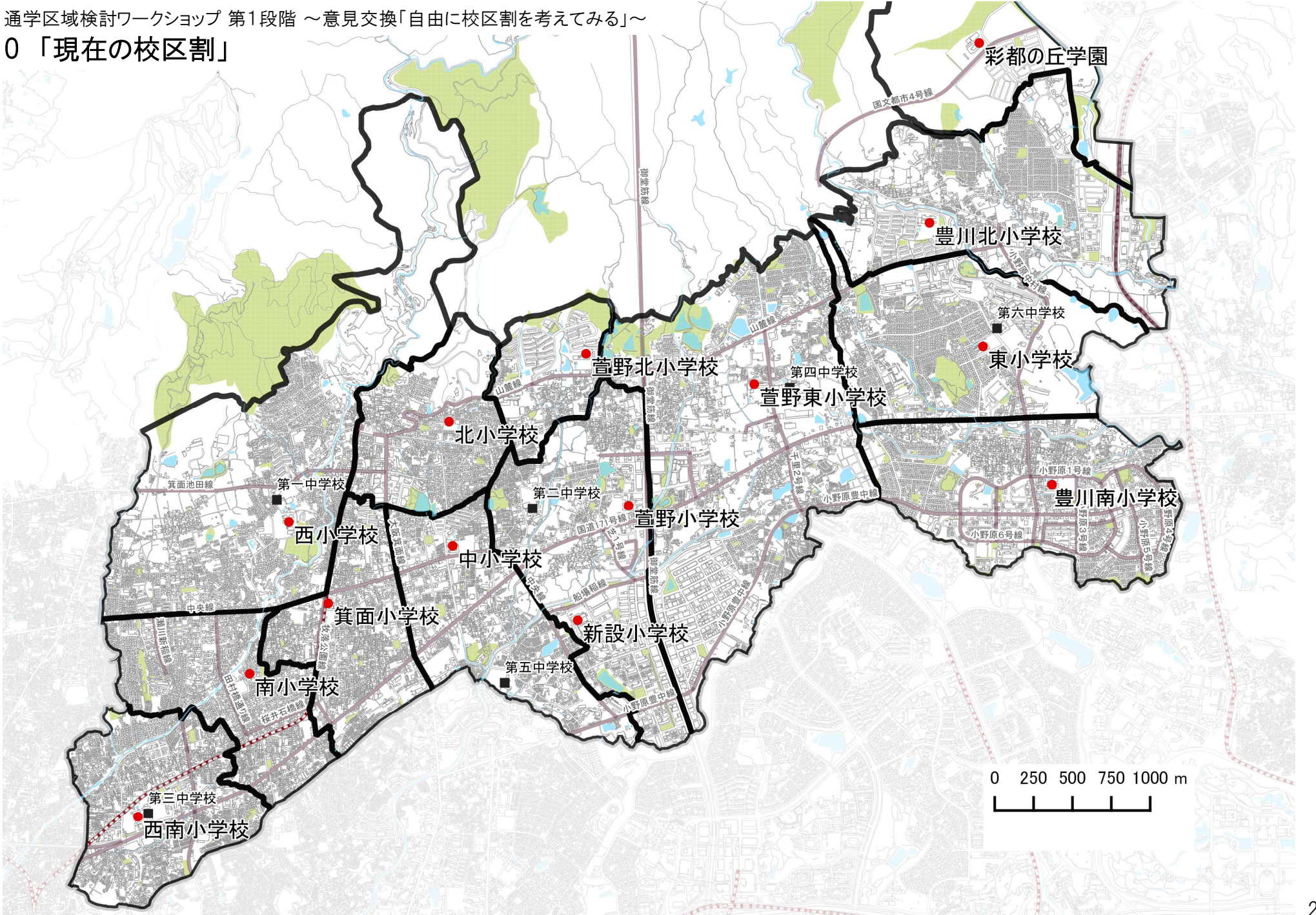
通学区域検討ワークショップ 第1段階～意見交換～

テーマ「自由に校区割を考えてみる」

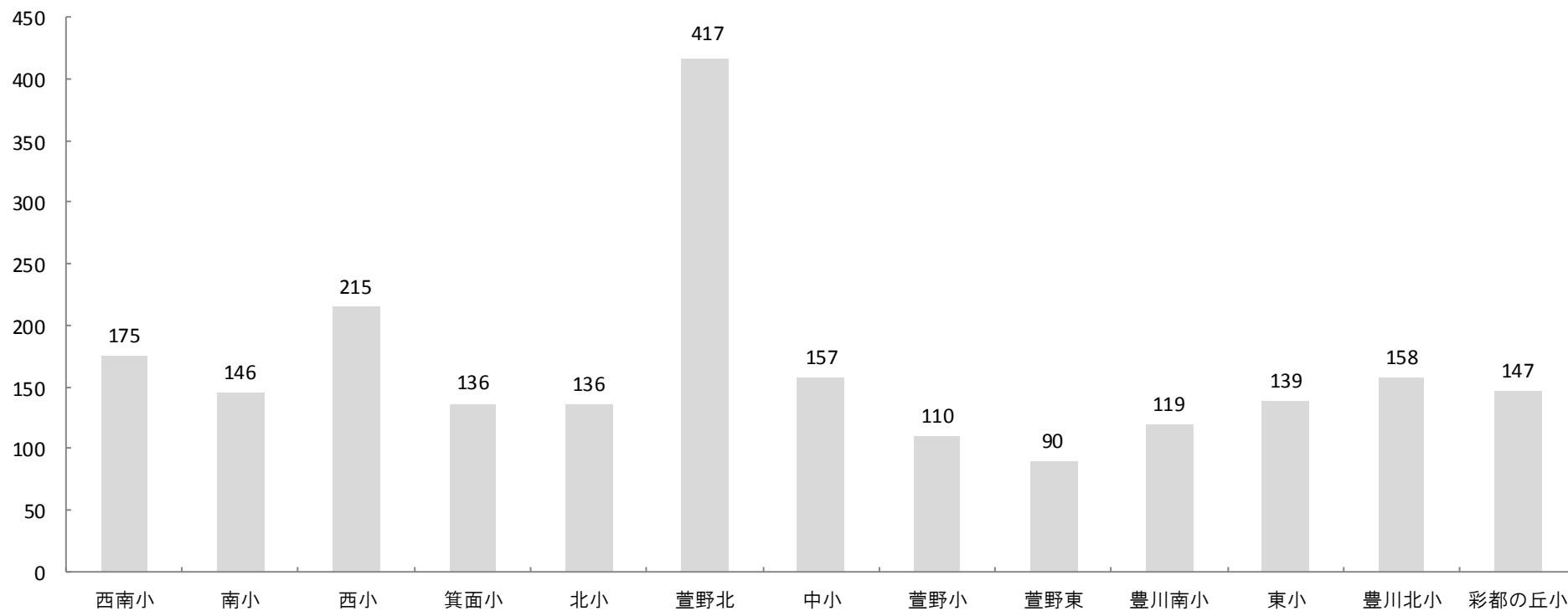
意見交換のために提示する校区割一覧(全10案)

＜パターン1＞ 「学校敷地面積/校区面積」の値を 均等にした校区割	＜パターン2＞ 可能なかぎり主要な道路で 線引きした校区割	＜パターン3＞ 町単位で線引きした校区割	＜パターン4＞ 学校間の垂直二等分線で 線引きした校区割
1  ※新設校が小中一貫校の場合と小学校のみの場合とがある	4 	6 	9 
2  ※新設校が小中一貫校の場合と小学校のみの場合とがある	5 	7 	10  ※新設校が小中一貫校の場合と小学校のみの場合とがある
3  ※新設校が小中一貫校の場合と小学校のみの場合とがある		8 	

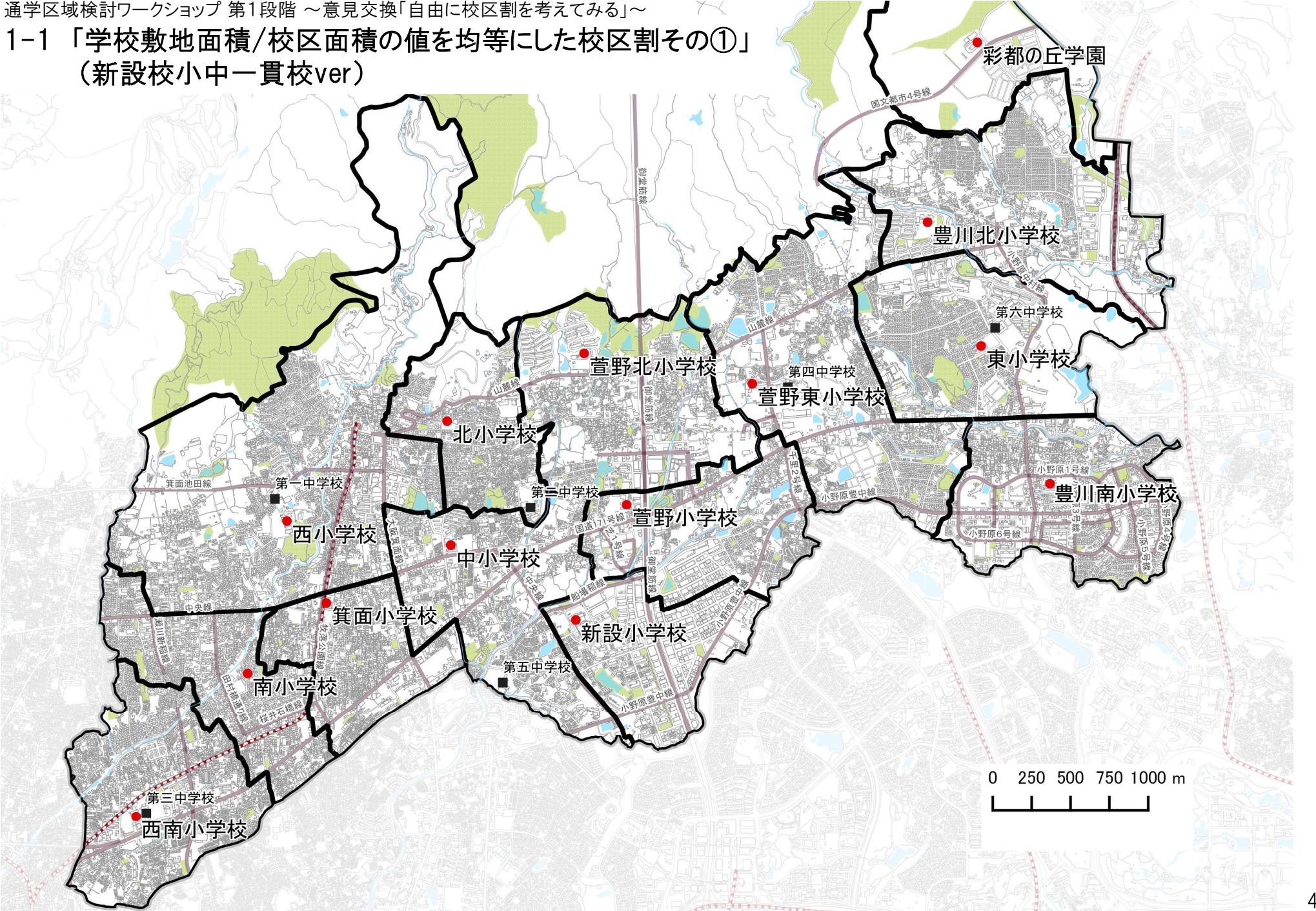
0 「現在の校区割」



■ 学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



通学区域検討ワークショップ 第1段階 ～意見交換「自由に校区割を考えてみる」～
1-1 「学校敷地面積/校区面積の値を均等にした校区割その①」
(新設校小中一貫校ver)

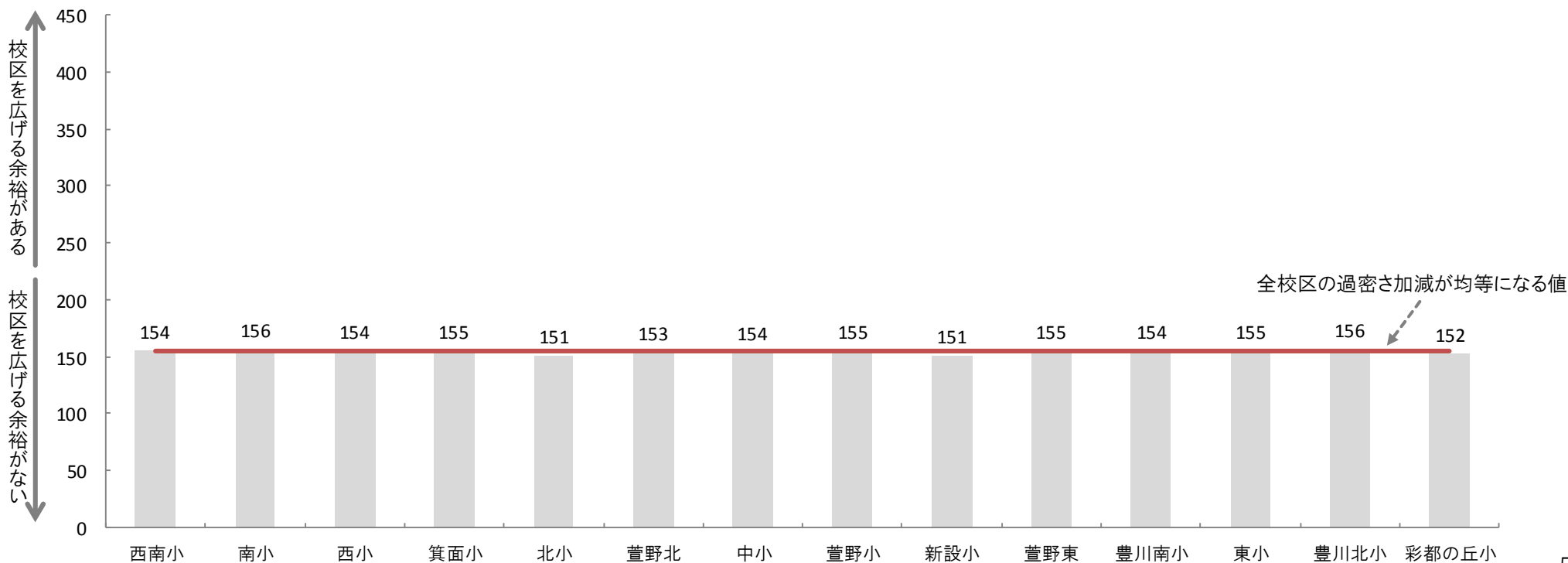


■考え方

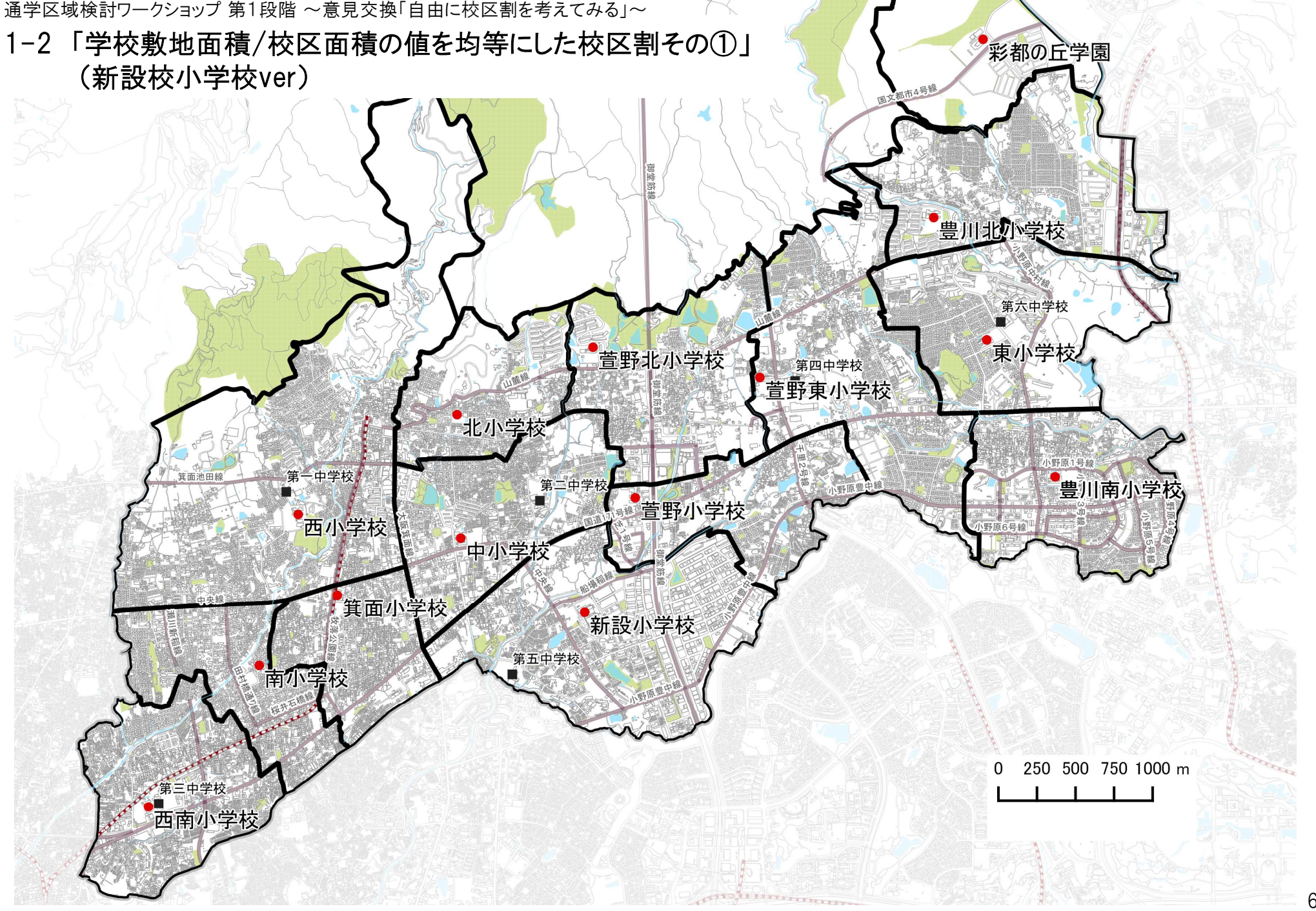
- 各校区の人口変動に左右されず、かつ均等な教育環境を確保するための指標となる「学校敷地面積/校区面積」の値のばらつきができるだけなくなるようにした。
- 新設校の「学校敷地面積/校区面積」の値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定して算出した。

※ 現校区を基本としながら、比較的大きな道路や町丁目の境界によって線引きを変更した。しかし、ある校区を広げると、その分、隣の校区が狭まるので、狭まった分をさらにその隣の校区に向かって広げていくことになり、連鎖的に複数校に影響が及ぶため、全校で「学校敷地面積/校区面積」を均等にしようとする、一部で、細い道路で校区を区切ったり、街区を分断しなければ調整しきれない箇所が生じる。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



1-2 「学校敷地面積/校区面積の値を均等にした校区割その①」
(新設校小学校ver)

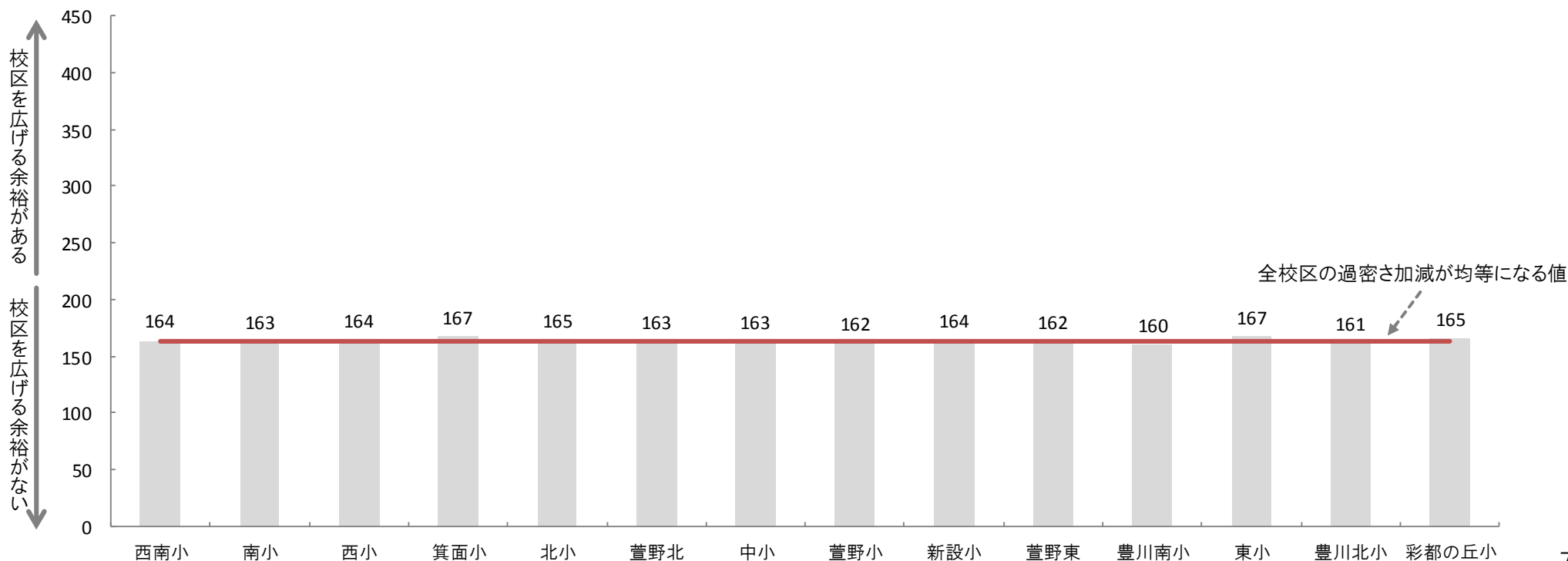


■考え方

- 各校区の人口変動に左右されず、かつ均等な教育環境を確保するための指標となる「学校敷地面積/校区面積」の値のばらつきができるだけなくなるようにした。
- 新設校の「学校敷地面積/校区面積」の値は、新設校を小学校とし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出した。

※ 現校区を基本としながら、比較的大きな道路や町丁目の境界によって線引きを変更した。しかし、ある校区を広げると、その分、隣の校区が狭まるので、狭まった分をさらにその隣の校区に向かって広げていくことになり、連鎖的に複数校に影響が及ぶため、全校で「学校敷地面積/校区面積」を均等にしようとする、一部で、細い道路で校区を区切ったり、街区を分断しなければ調整しきれない箇所が生じる。

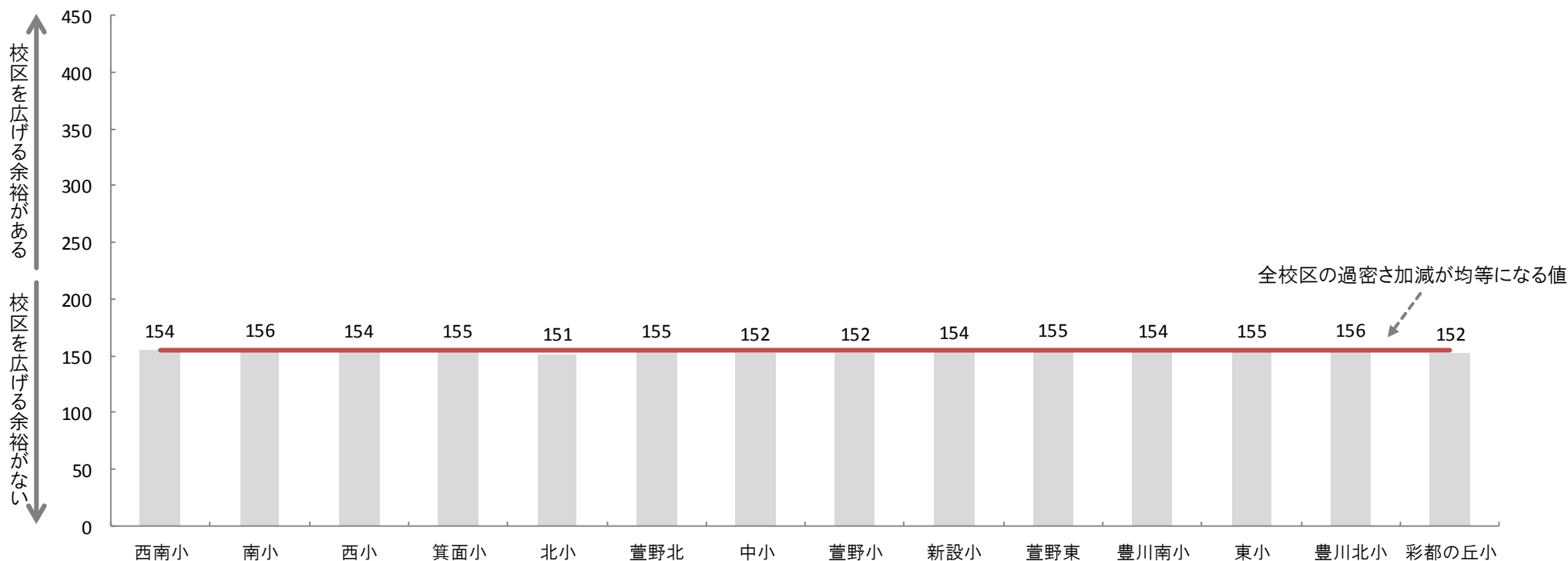
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



■考え方

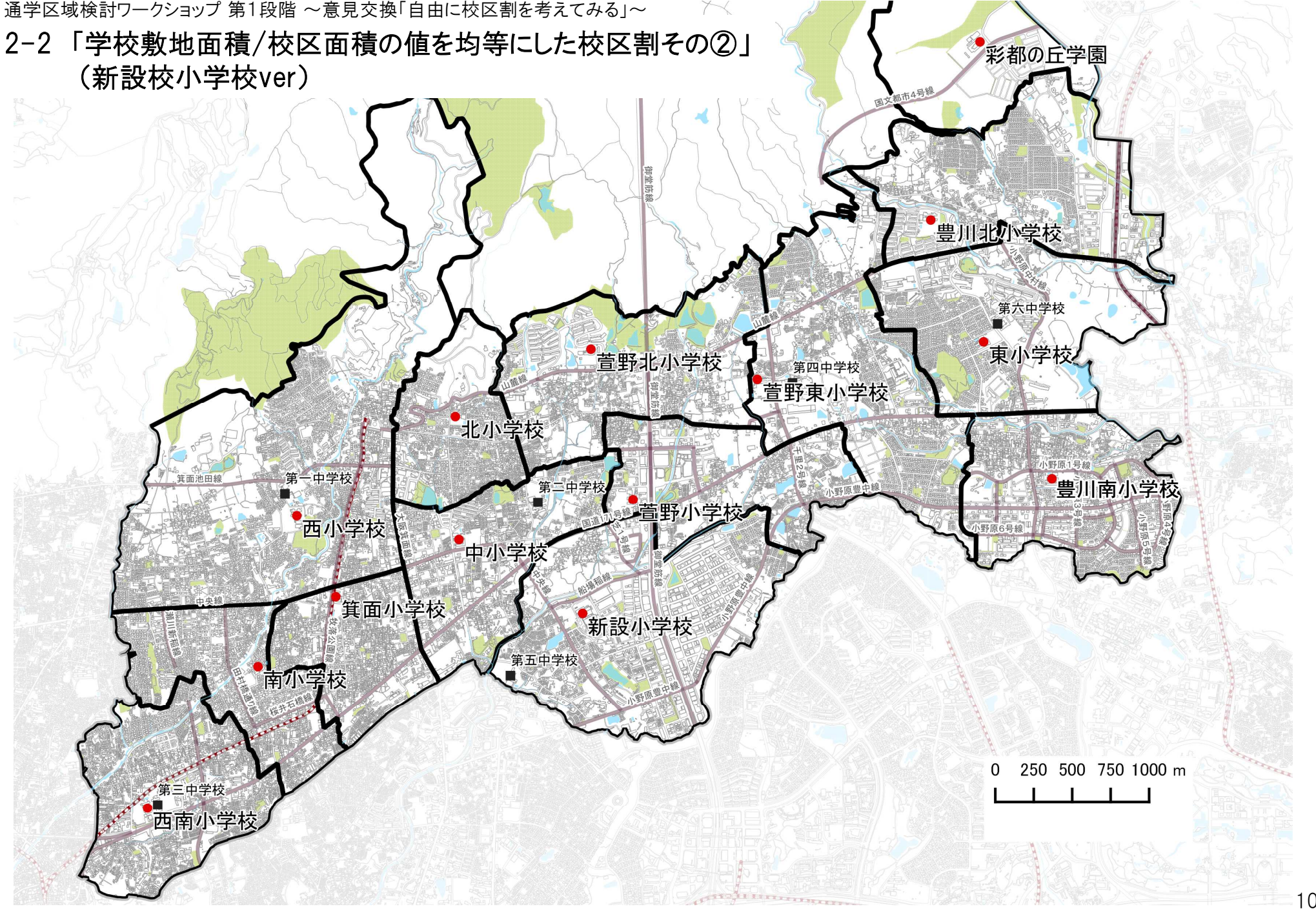
- 新設校の校区を西にずらすことで、校区割1-1(「学校敷地面積/校区面積」の値をできるだけ均等にした校区割・新設校小中一貫校ver)の派生形を作成した。
- 新設校の校区がずらした分、中小・北小・萱野小・萱野北小・萱野東小の校区が、それぞれ時計回りの方向にずれた。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



通学区域検討ワークショップ 第1段階 ～意見交換「自由に校区割を考えてみる」～

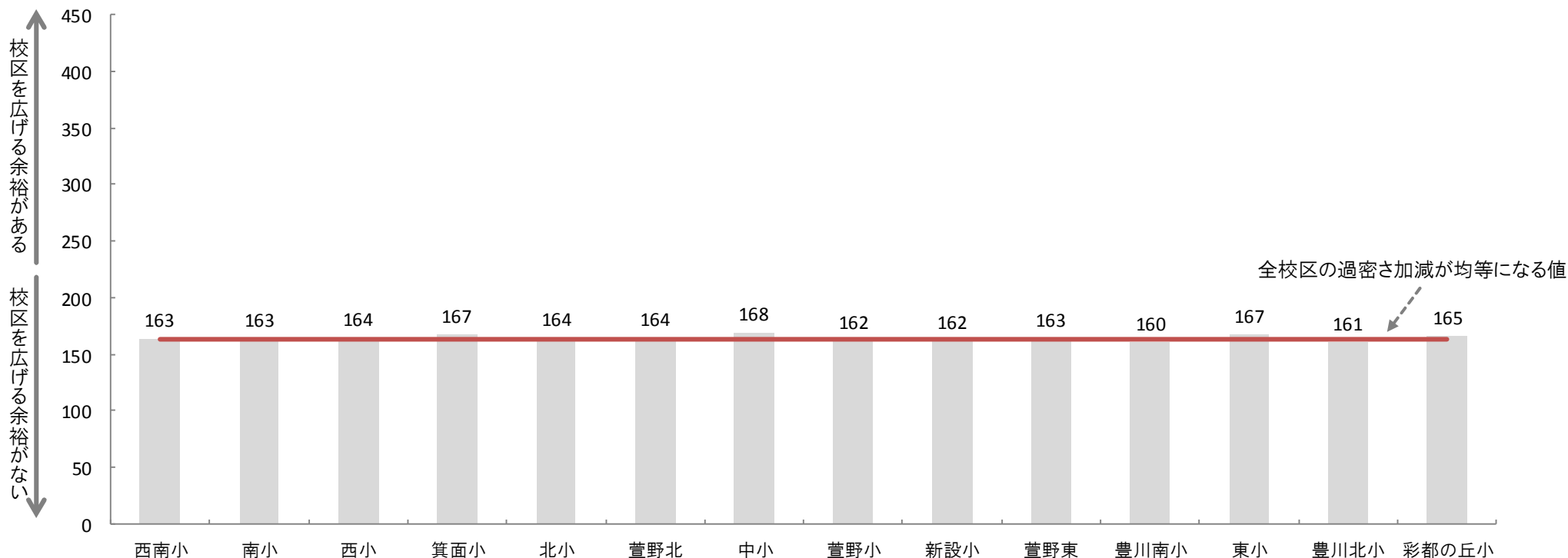
2-2 「学校敷地面積/校区面積の値を均等にした校区割その②」
(新設校小学校ver)



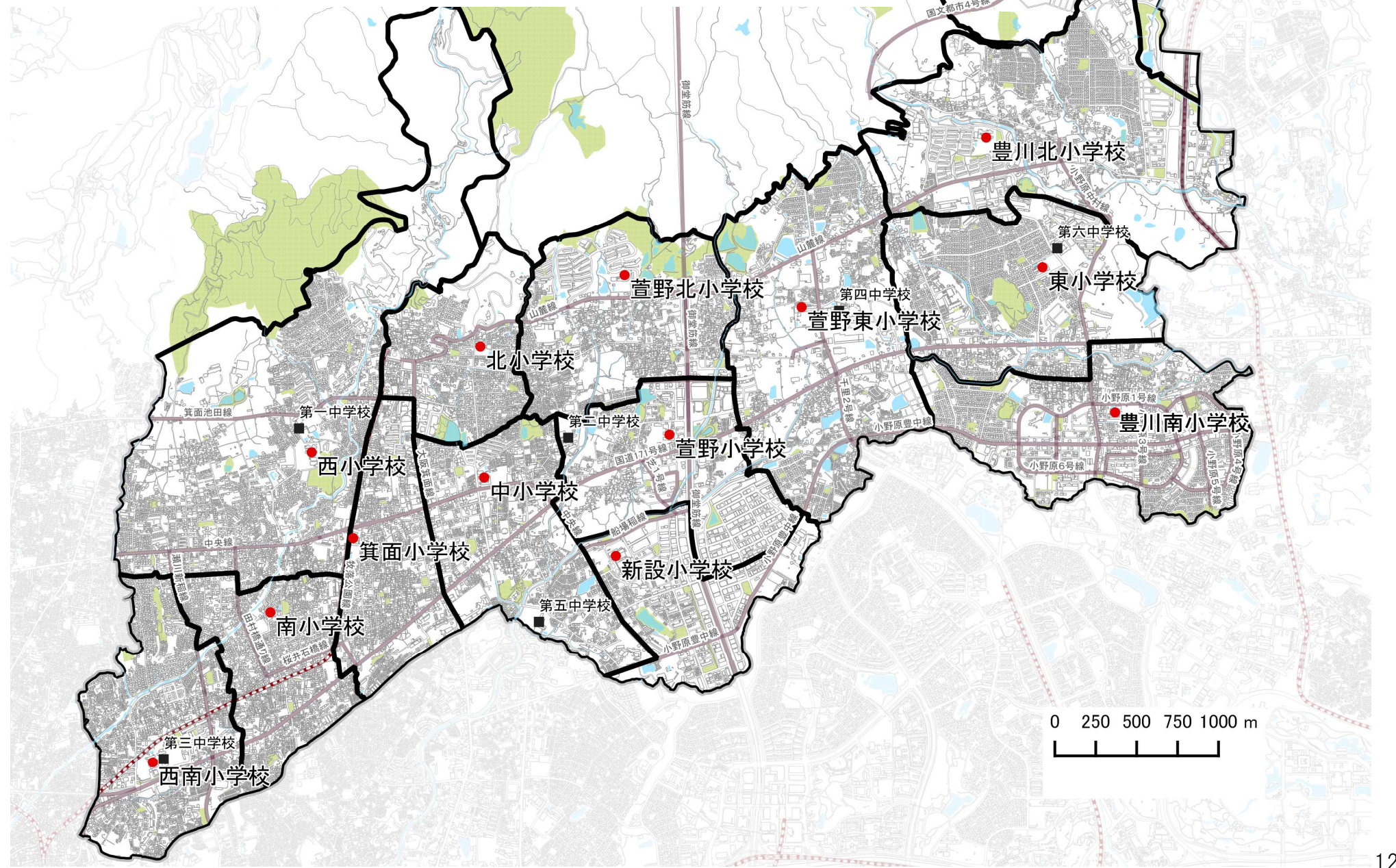
■ 考え方

- 新設校の校区を西にずらすことで、 $1-2$ (「学校敷地面積/校区面積」の値をできるだけ均等にした校区割・新設校小学校ver)の派生形を作成した。
- 新設校の校区がずらした分、中小・北小・萱野小・萱野北小・萱野東小の校区が、それぞれ時計回りの方向にずれた。

■ 学校敷地面積/校区面積(m^2/ha)



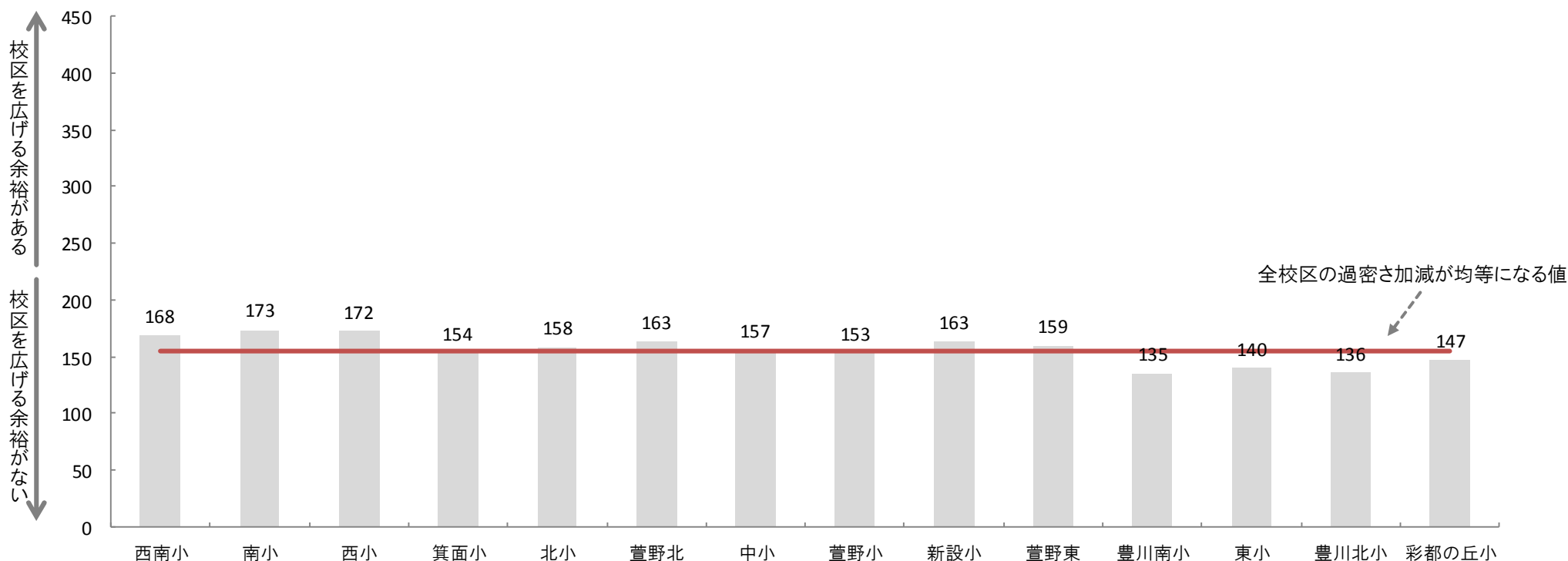
3-1 「学校敷地面積/校区面積の値を西・中・東部で均等にした校区割」
(新設校小中一貫校ver)



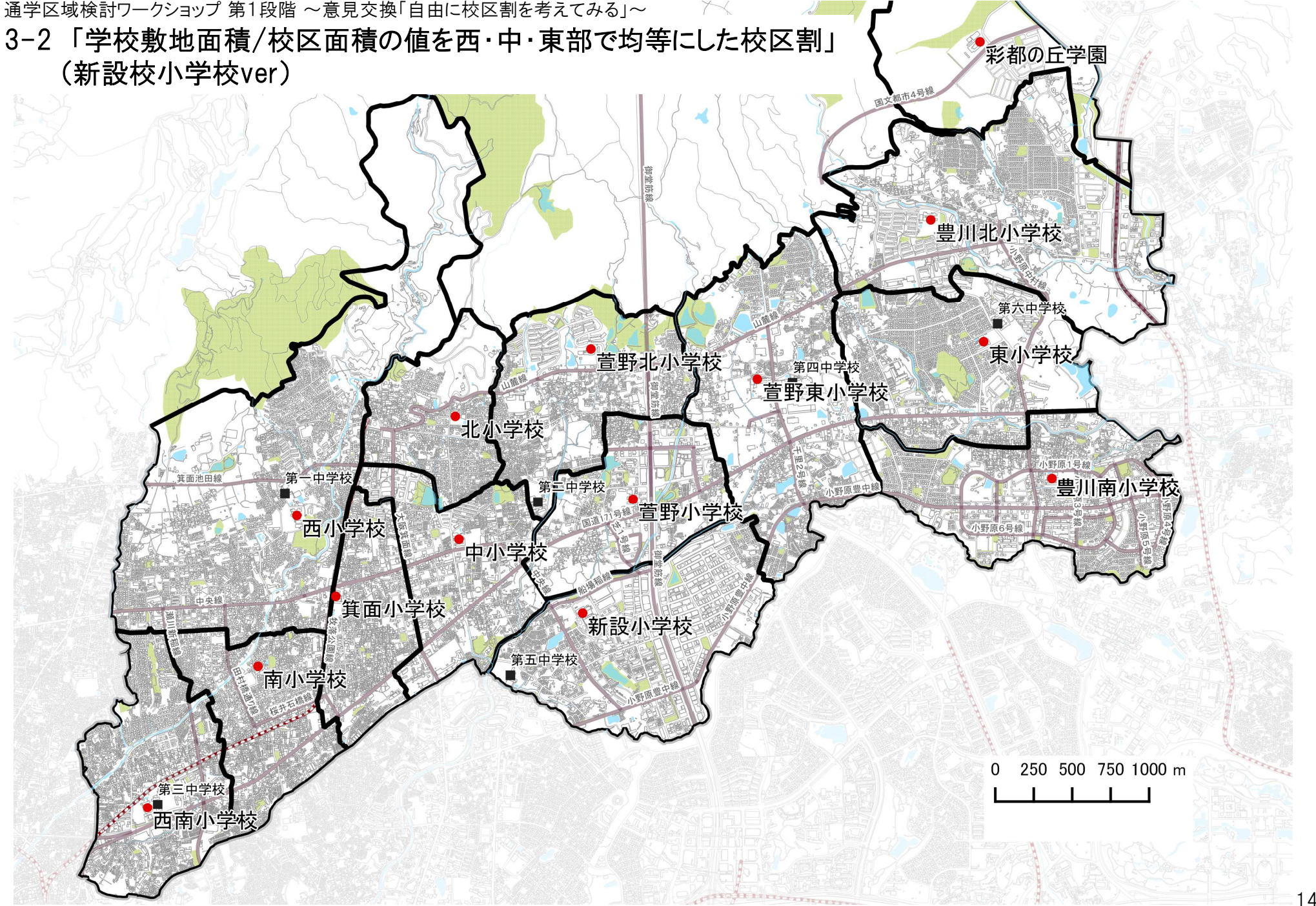
■考え方

- 校区割1-1～2-2のように、全校区で「学校敷地面積/校区面積」を均等にするのではなく、西部(西南小・南小・西小)、中部(箕面小・北小・萱野北小・中小・萱野小・新設小・萱野東小)、東部(豊川南小・東小・豊川北小)ごとに、「学校敷地面積/校区面積」が均等になるよう校区を調整した。
- 新設校の「学校敷地面積/校区面積」の値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定して算出した。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



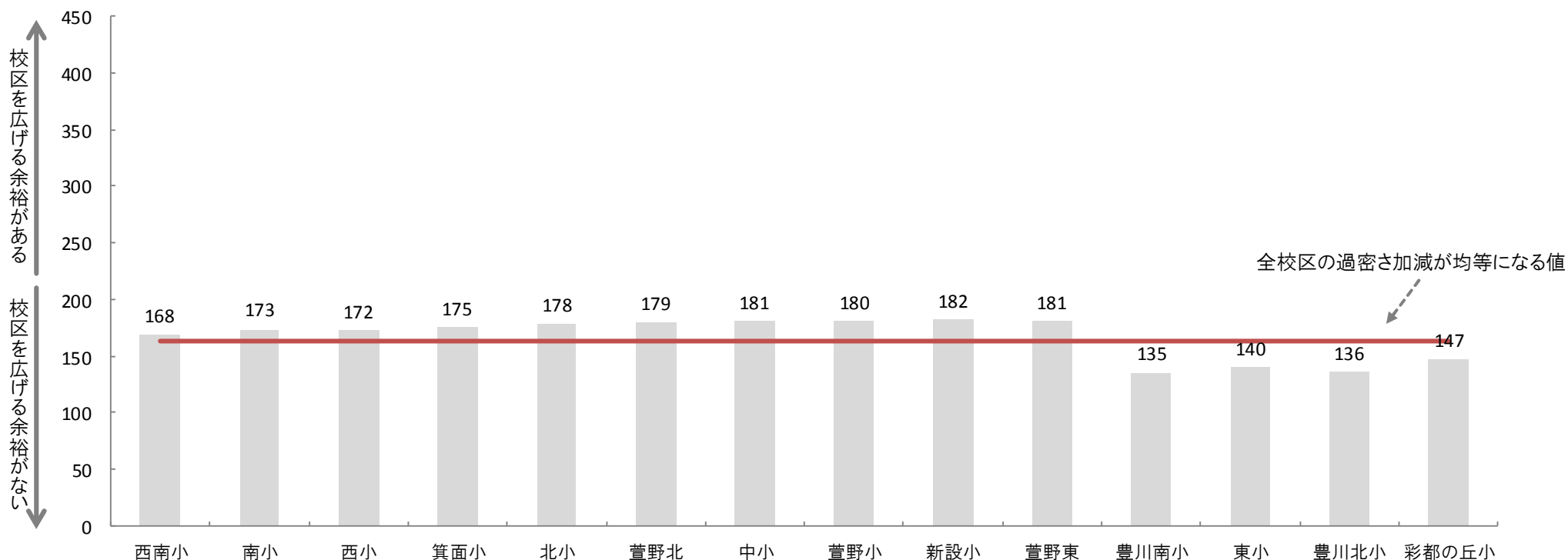
3-2 「学校敷地面積/校区面積の値を西・中・東部で均等にした校区割」
(新設校小学校ver)



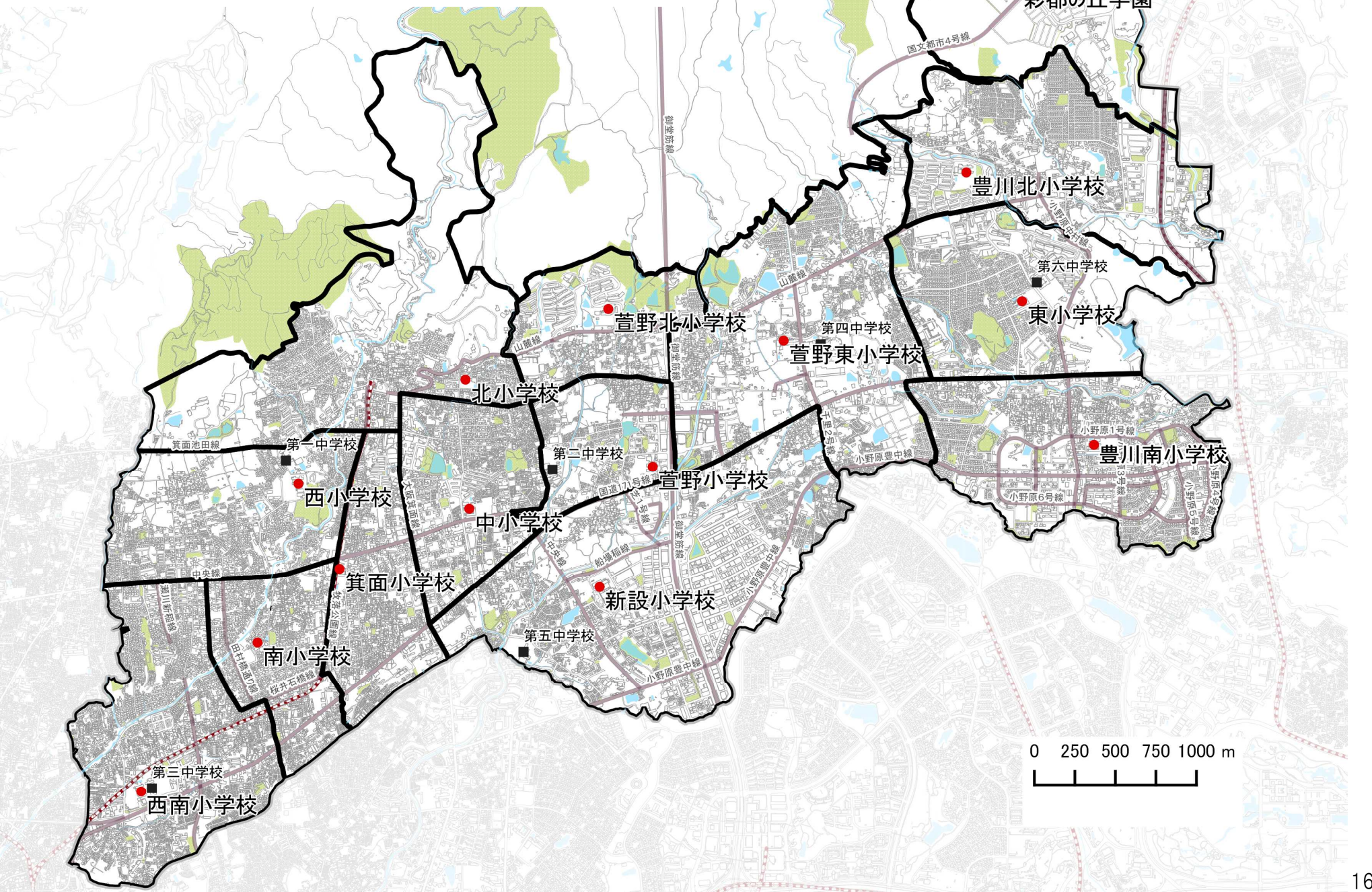
■考え方

- 校区割1-1～2-2のように、全校区で「学校敷地面積/校区面積」を均等にするのではなく、西部(西南小・南小・西小)、中部(箕面小・北小・萱野北小・中小・萱野小・新設小・萱野東小)、東部(豊川南小・東小・豊川北小)ごとに、「学校敷地面積/校区面積」が均等になるよう校区を調整した。
- 新設校の「学校敷地面積/校区面積」の値は、新設校を小学校とし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出した。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



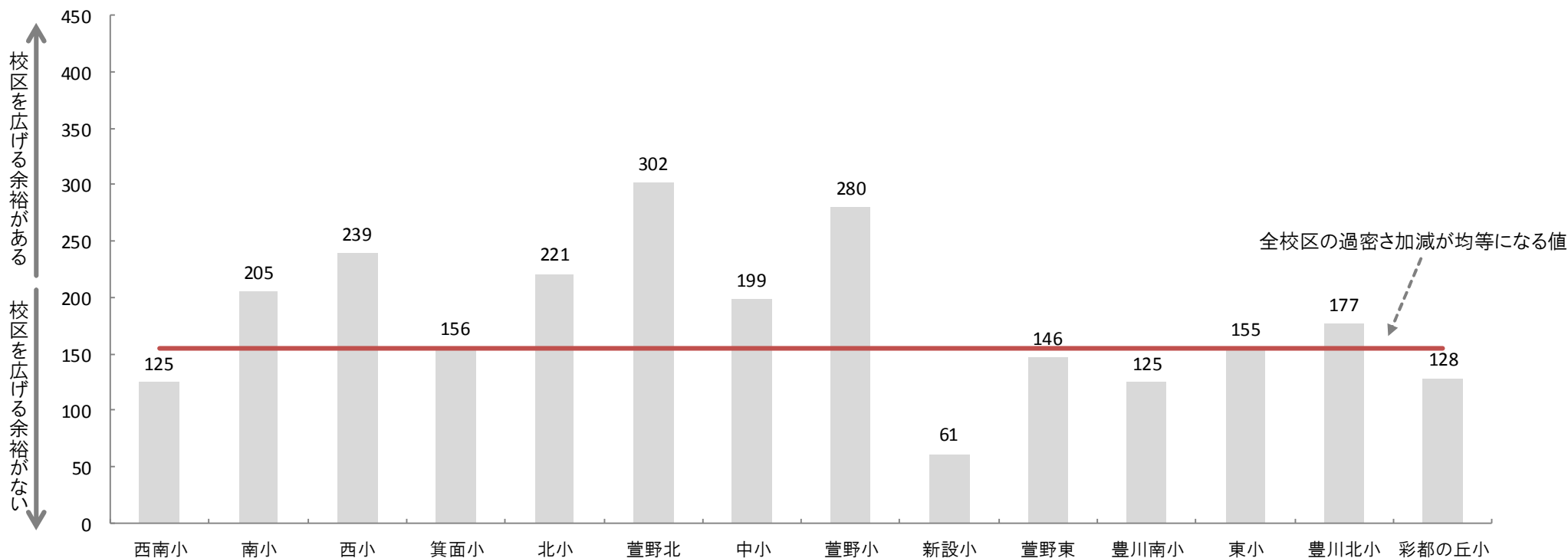
4 「可能なかぎり主要な道路で線引きした校区割その①」



■考え方

- 大きな道路をなるべく横断せずすむよう、国道423号線、国道171号線、中央線等、できるだけ主要な道路で校区を線引きした。

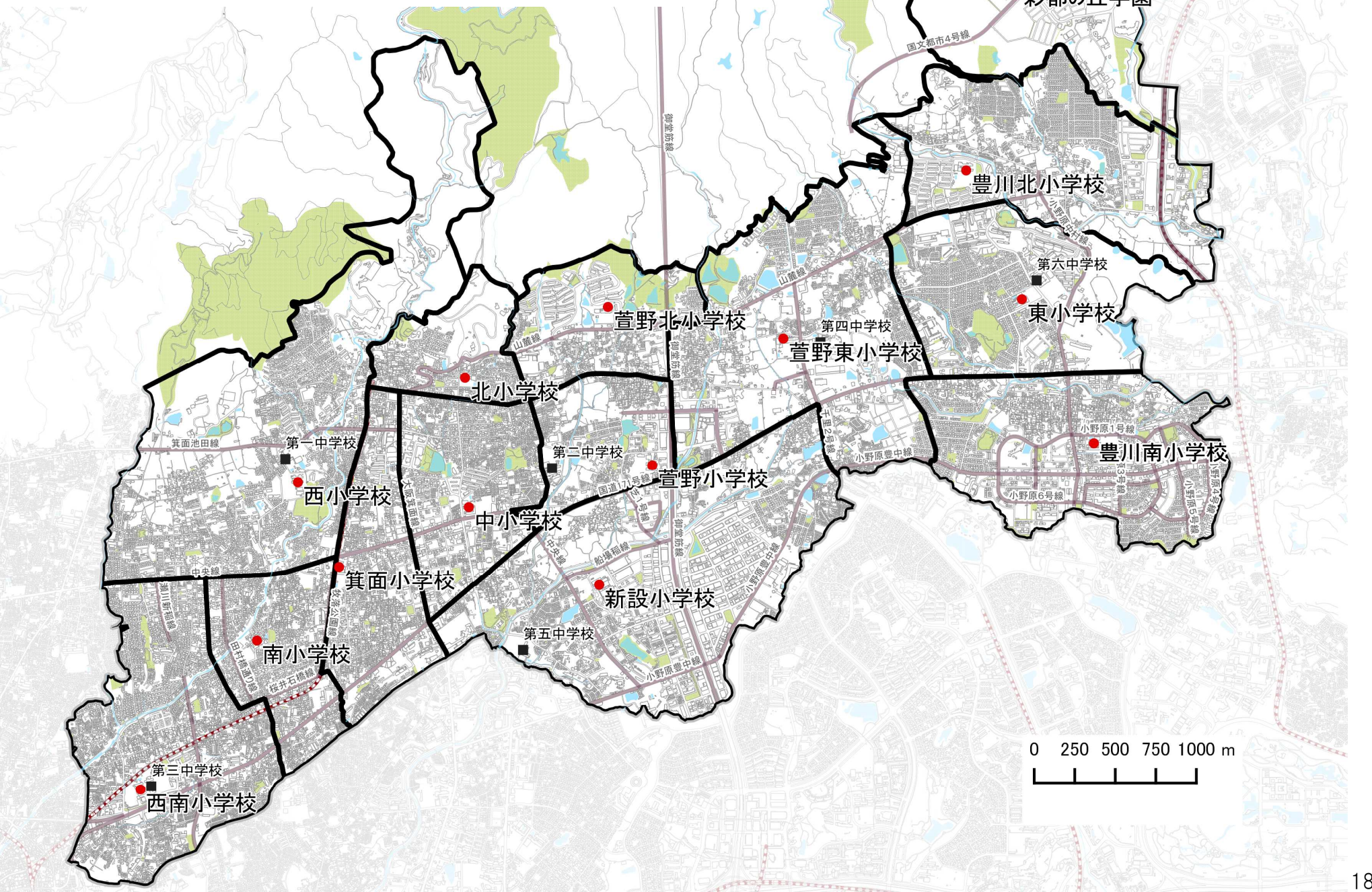
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「123」となる。

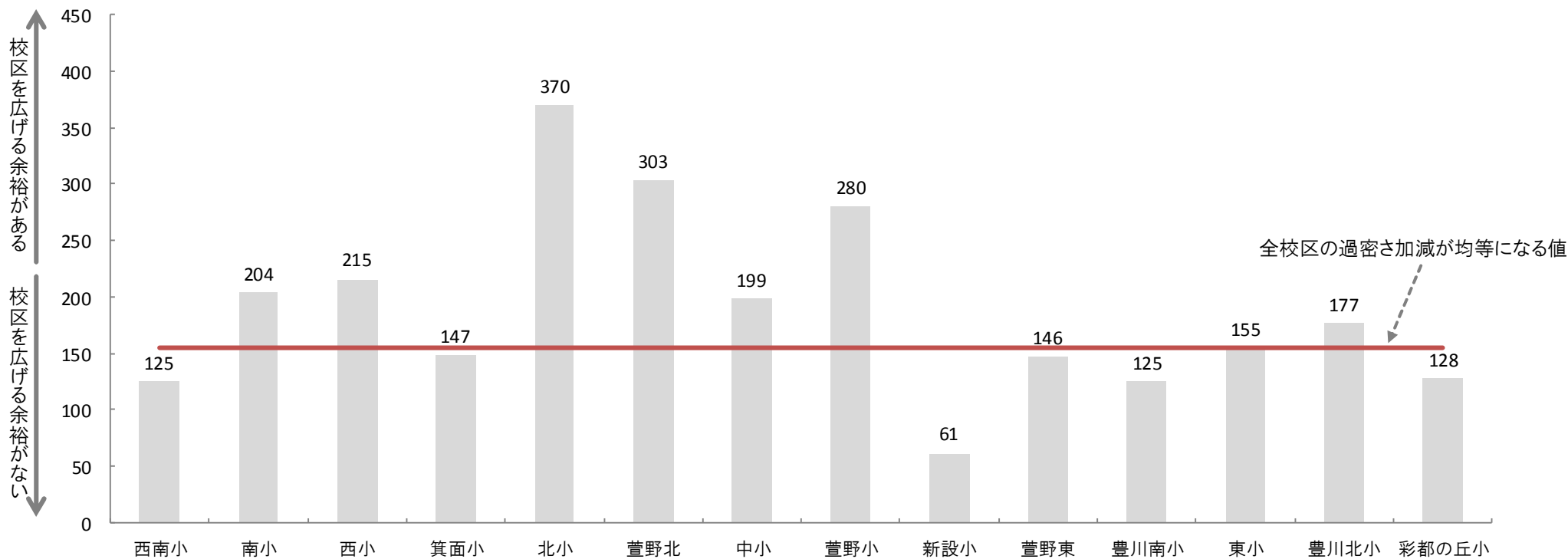
5 「可能なかぎり主要な道路で線引きした校区割その②」



■考え方

- 校区割4では、大阪府道9号箕面池田線で線引きしたことによって、北小校区が東西に広がってしまったため、西小・北小間を現校区の線引きに戻した。

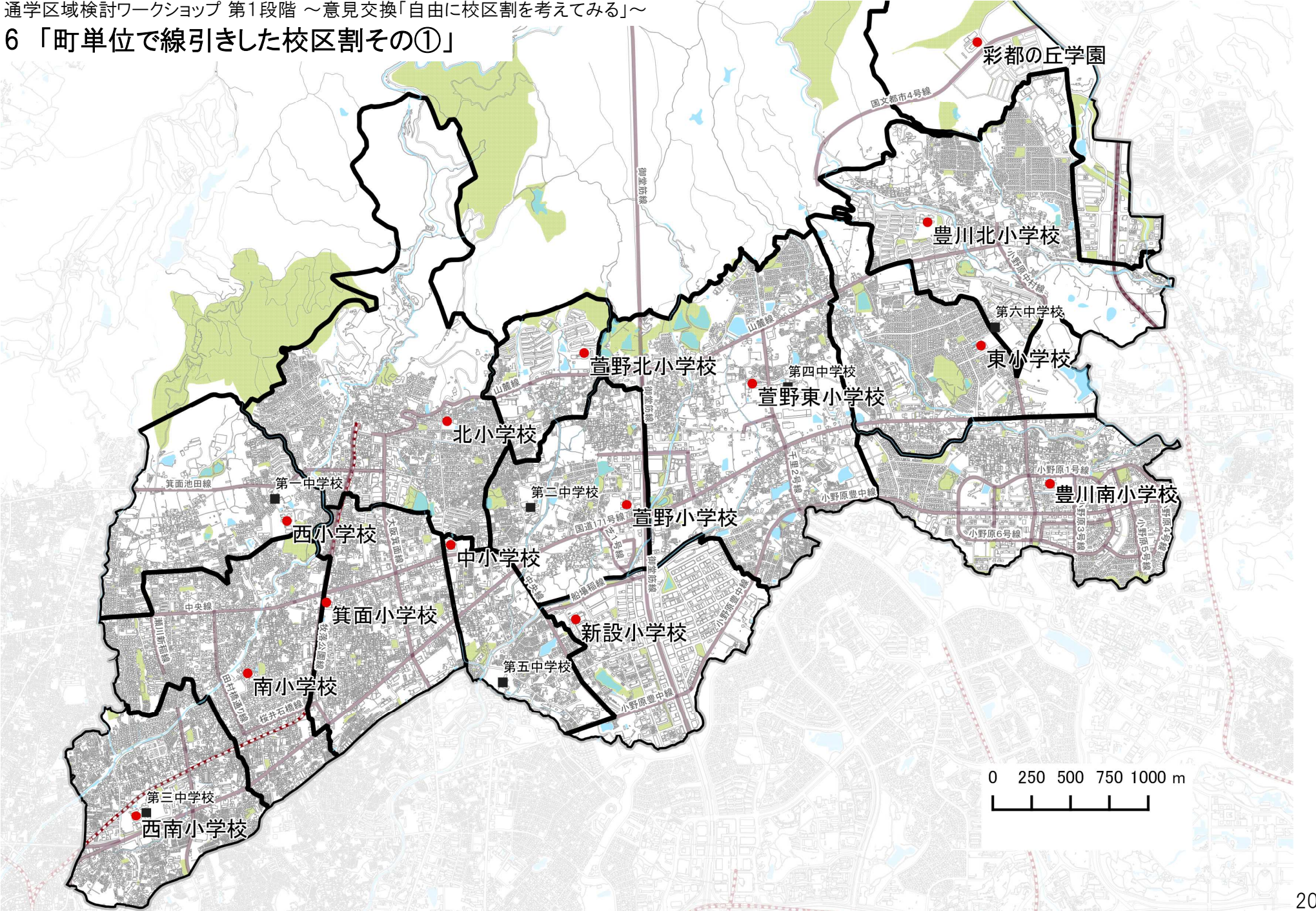
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「123」となる。

6 「町単位で線引きした校区割その①」

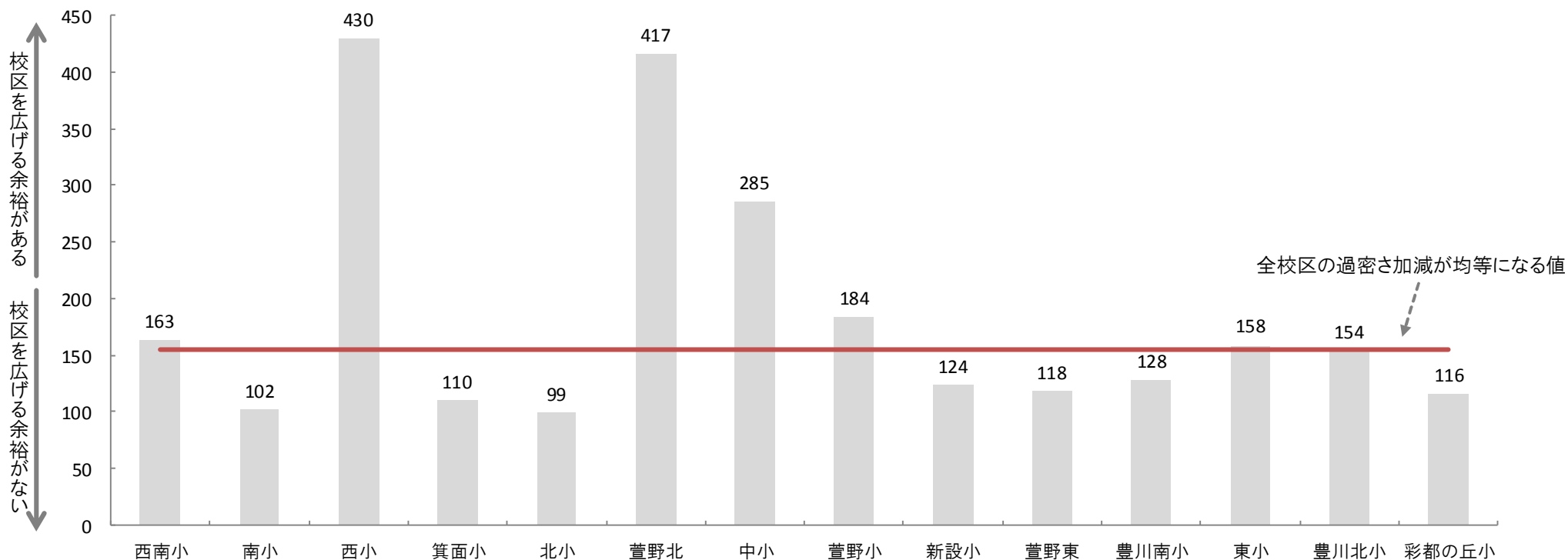


0 250 500 750 1000 m

■考え方

- まちの一体性を分断しないよう、町(西小路・牧落など)が複数の校区に分かれないように線引きした。
- ただし、萱野小と新設小の所在地がどちらも萱野であるため、千里川を境界として線引きした。

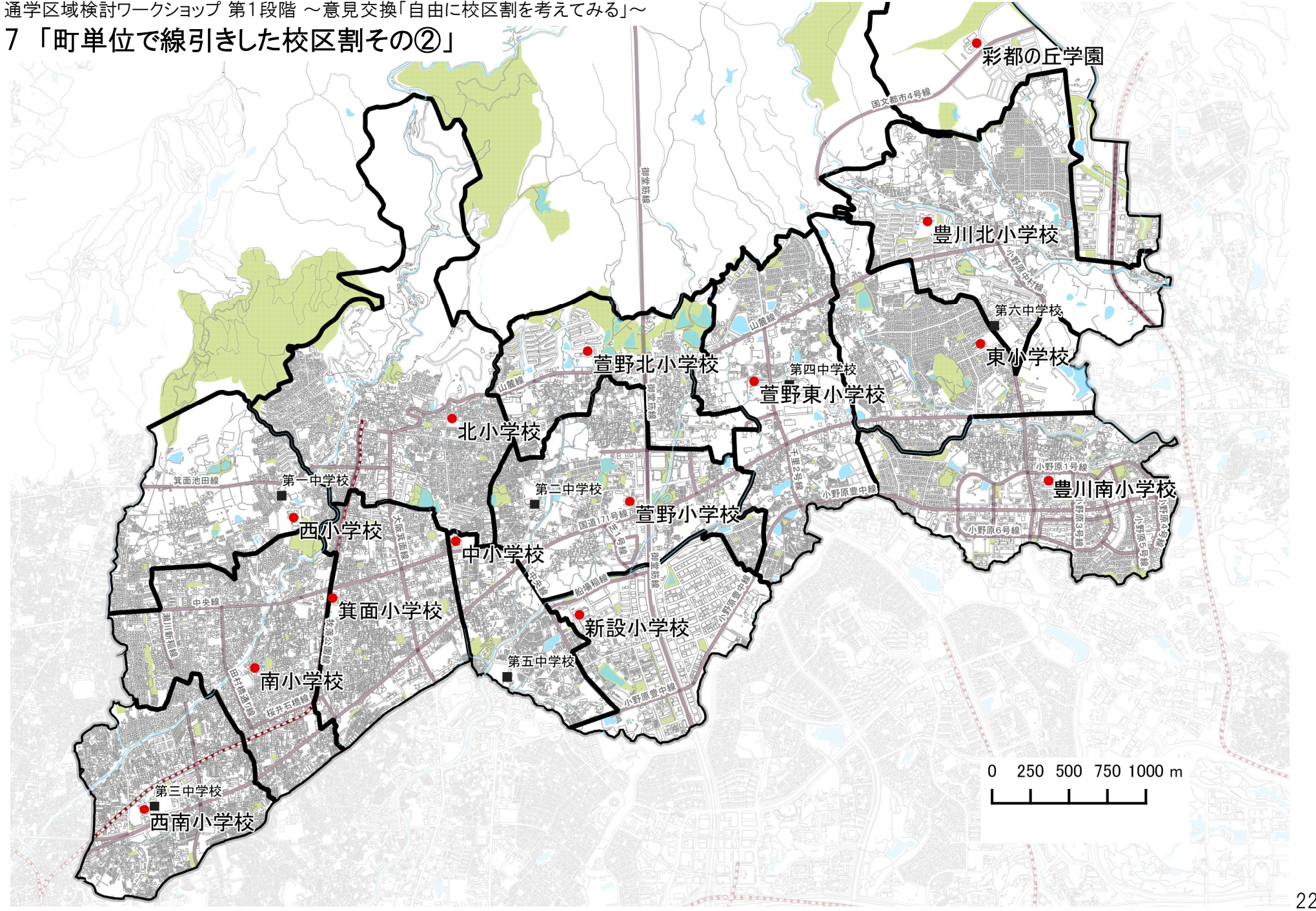
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「248」となる。

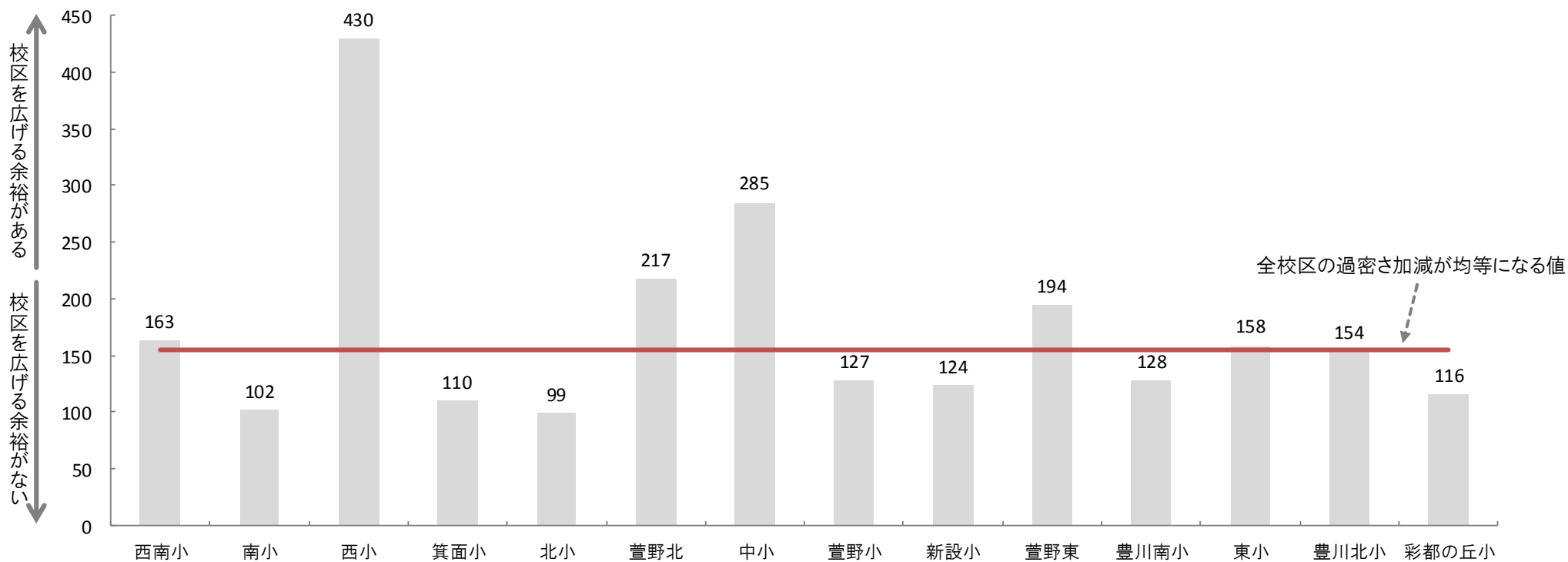
7 「町単位で線引きした校区割その②」



■考え方

- まちの一体性を分断しないよう、町(西小路・牧落など)が複数の校区に分かれないように線引きした校区割6の派生形。
- 萱野北小校区・萱野小校区を、新御堂筋を超えて東方向に広げた。

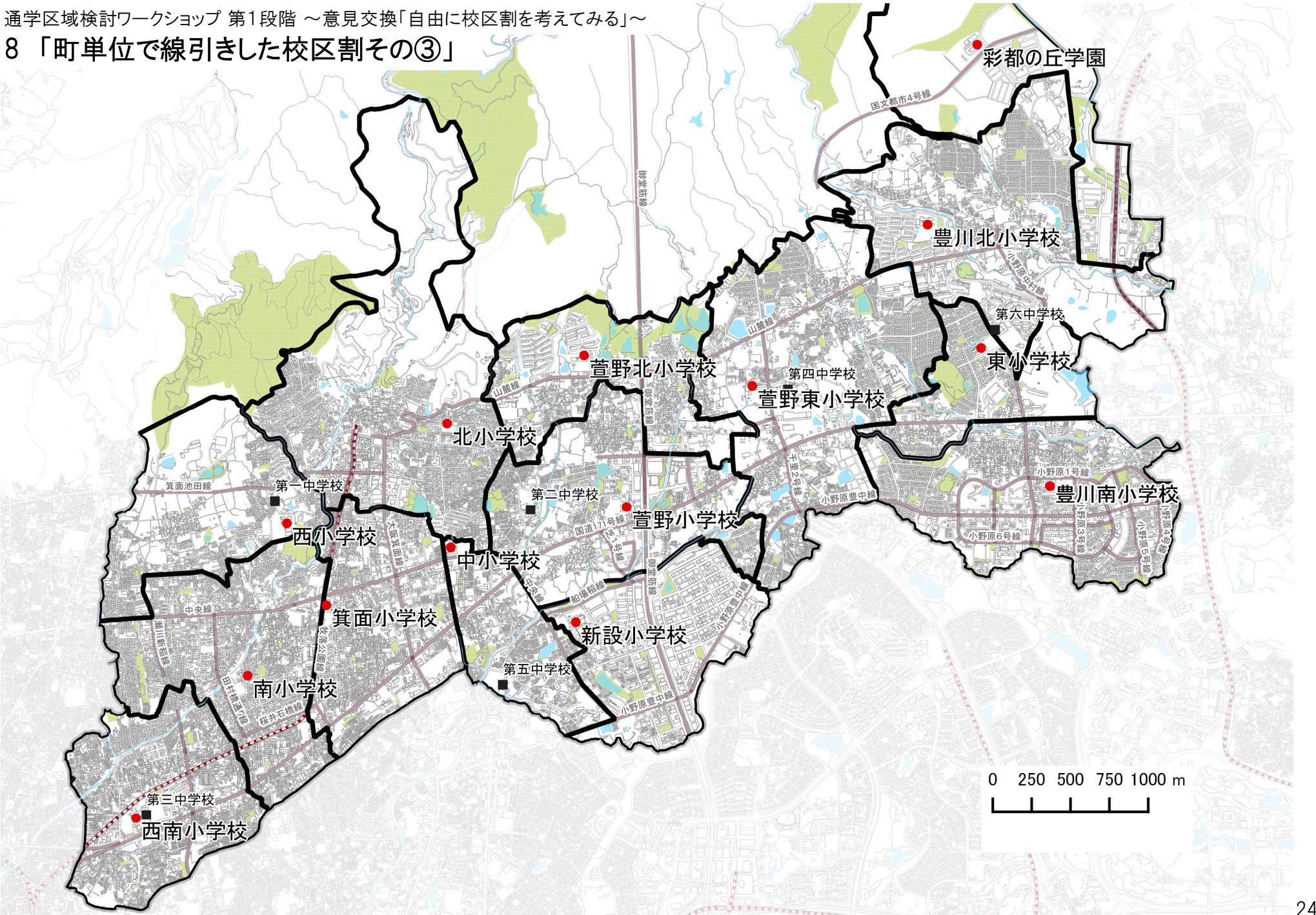
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「248」となる。

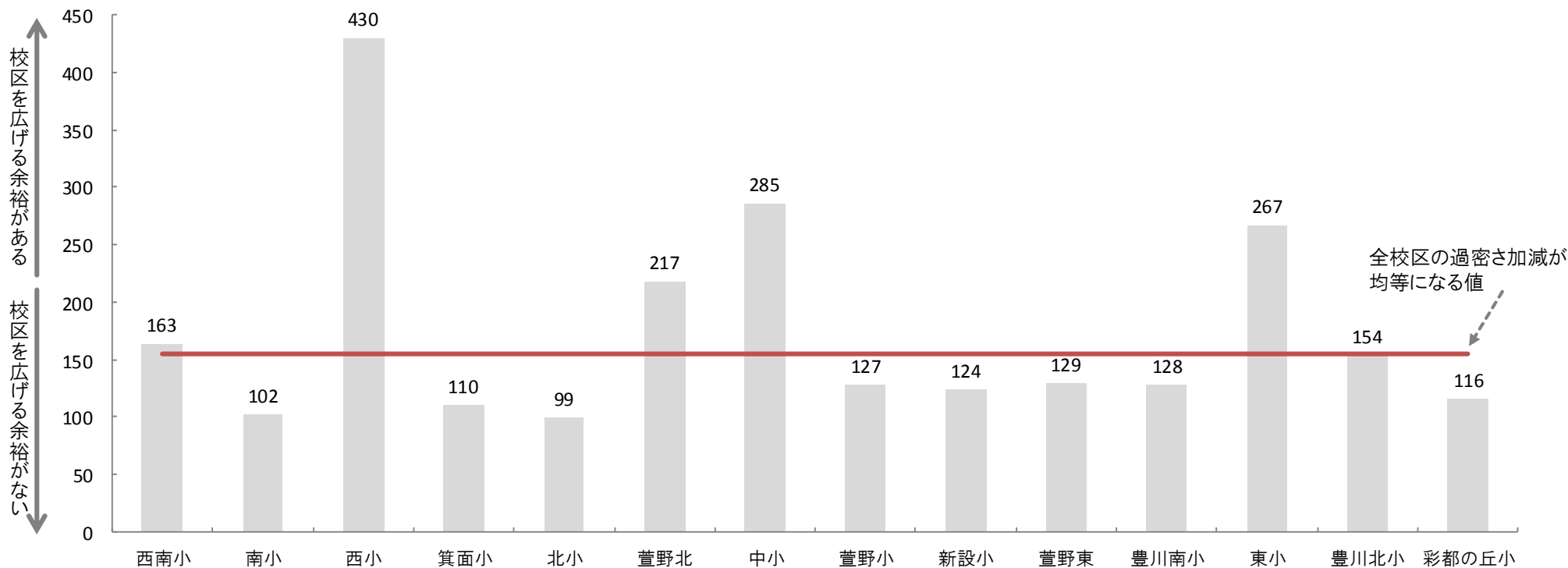
8 「町単位で線引きした校区割その③」



■考え方

- まちの一体性を分断しないよう、町（西小路・牧落など）が複数の校区に分かれないように線引きした校区割6の派生形。
- 萱野北小校区・萱野小校区を、新御堂筋を超えて東方向に広げ、さらに、小さくなった萱野東小校区を東方向に広げた。

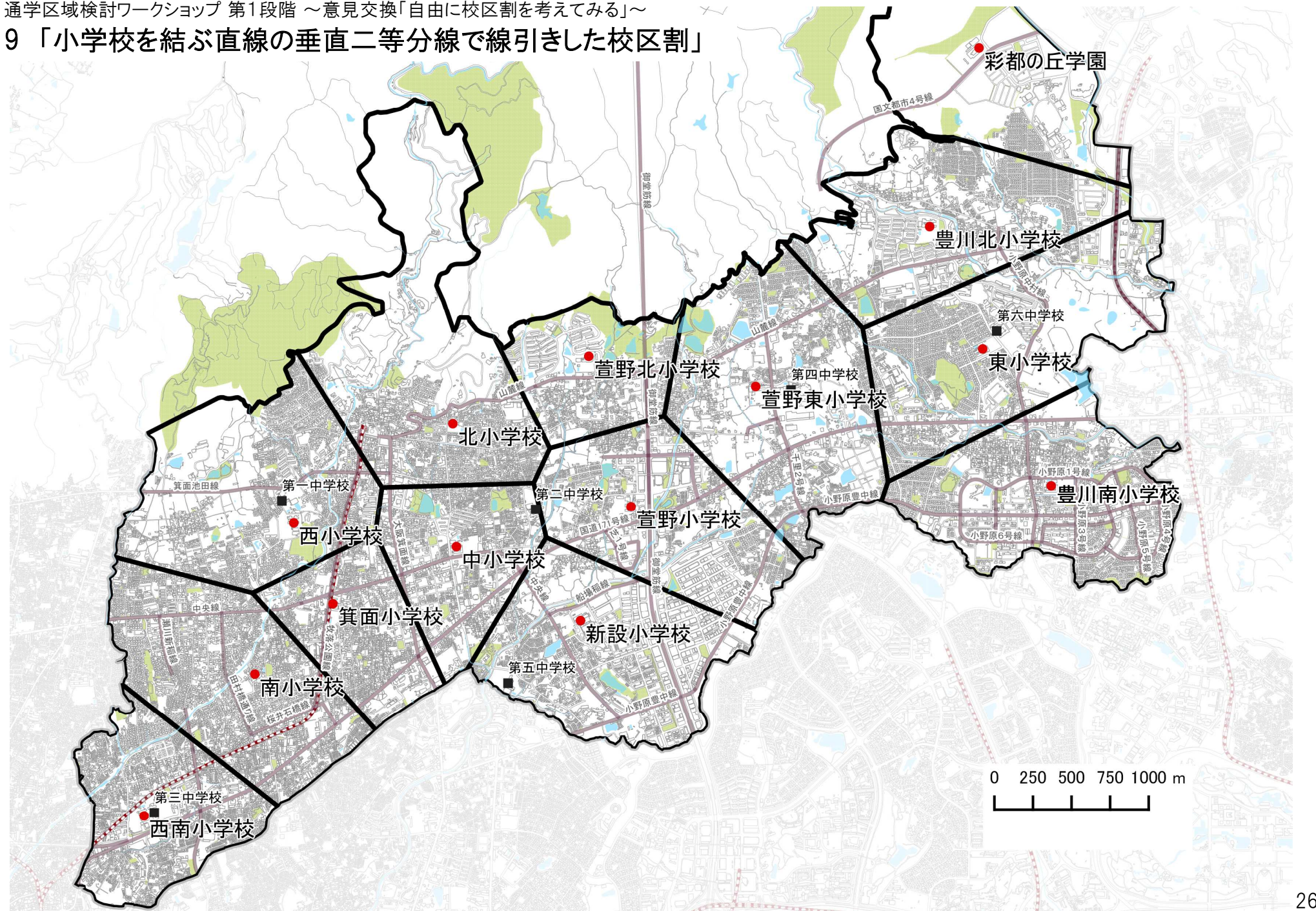
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「248」となる。

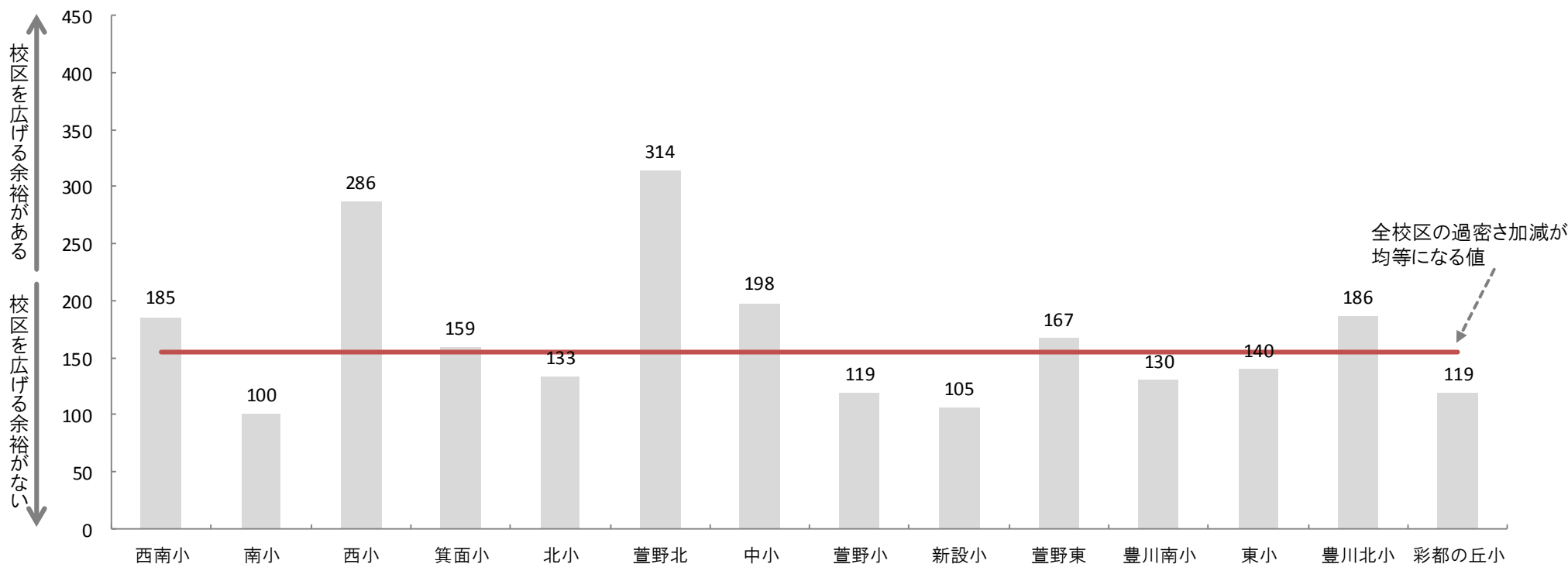
9 「小学校を結ぶ直線の垂直二等分線で線引きした校区割」



■考え方

- 各小学校を結ぶ直線の垂直二等分線で校区を区切った。
- 直線距離で一番近い小学校に通うことができる。

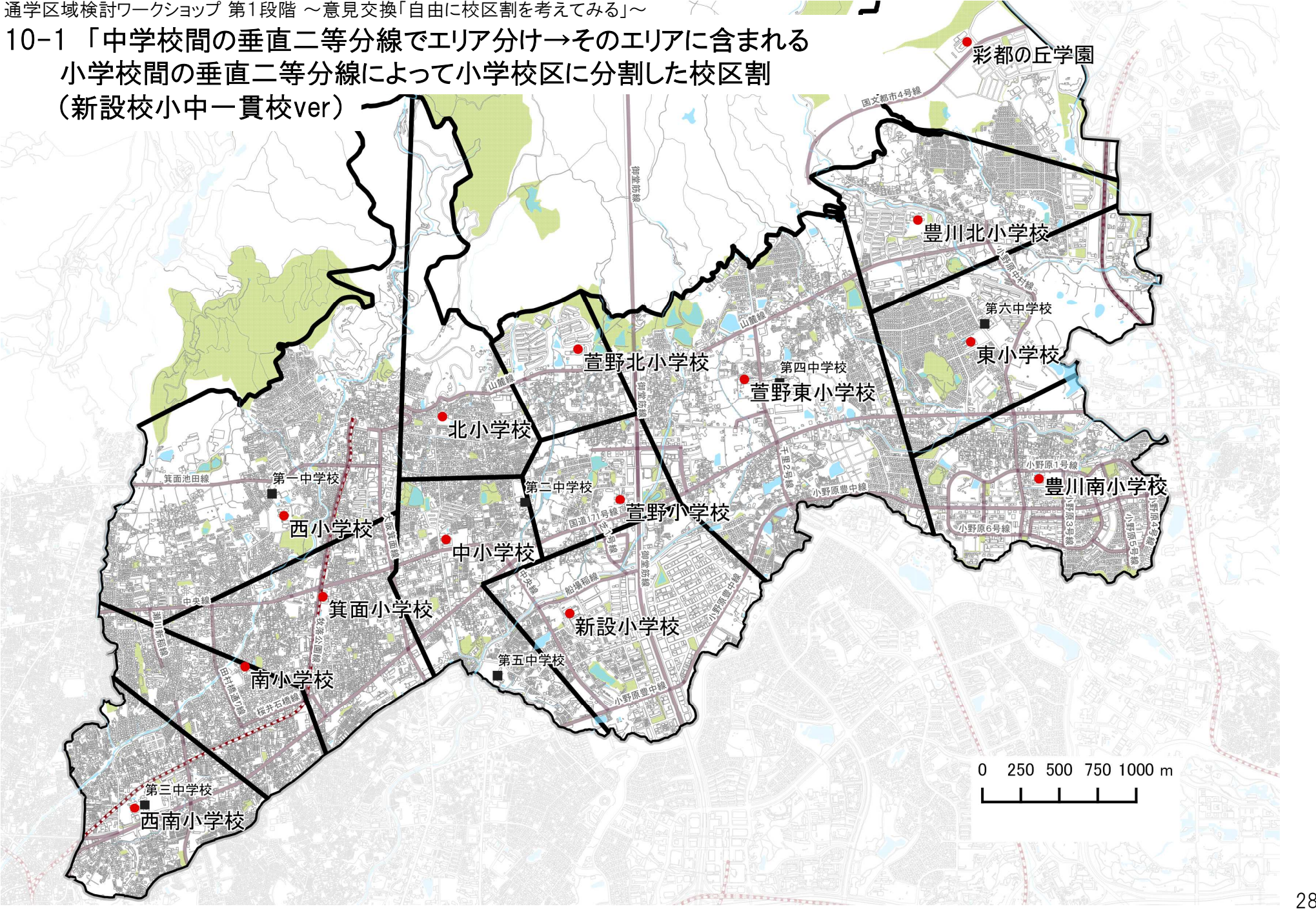
■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



※上記の新設校の数値は、新設校を小中一貫校とし、全敷地の50%を小学校敷地として利用すると仮定した場合のもの。

新設校を小学校のみとし、全敷地の100%を小学校敷地として利用すると仮定して算出すると、新設校の数値は「210」となる。

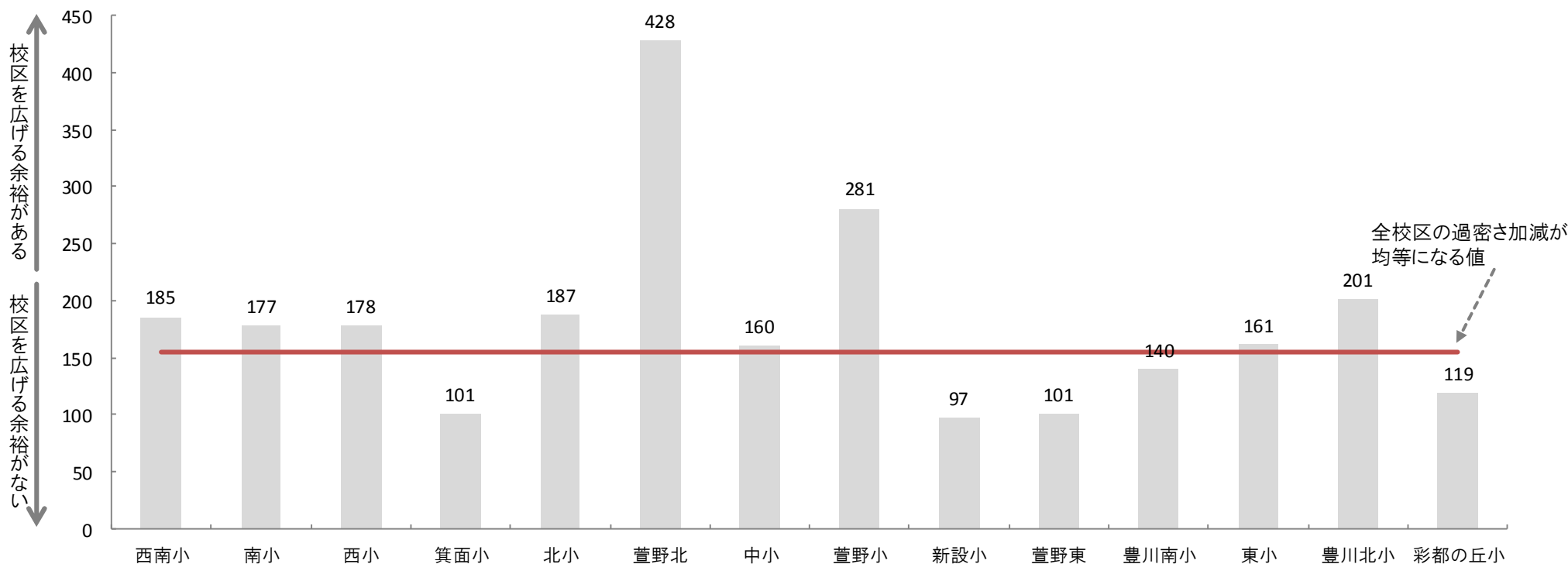
10-1 「中学校間の垂直二等分線でエリア分け→そのエリアに含まれる
小学校間の垂直二等分線によって小学校区に分割した校区割
(新設校小中一貫校ver)



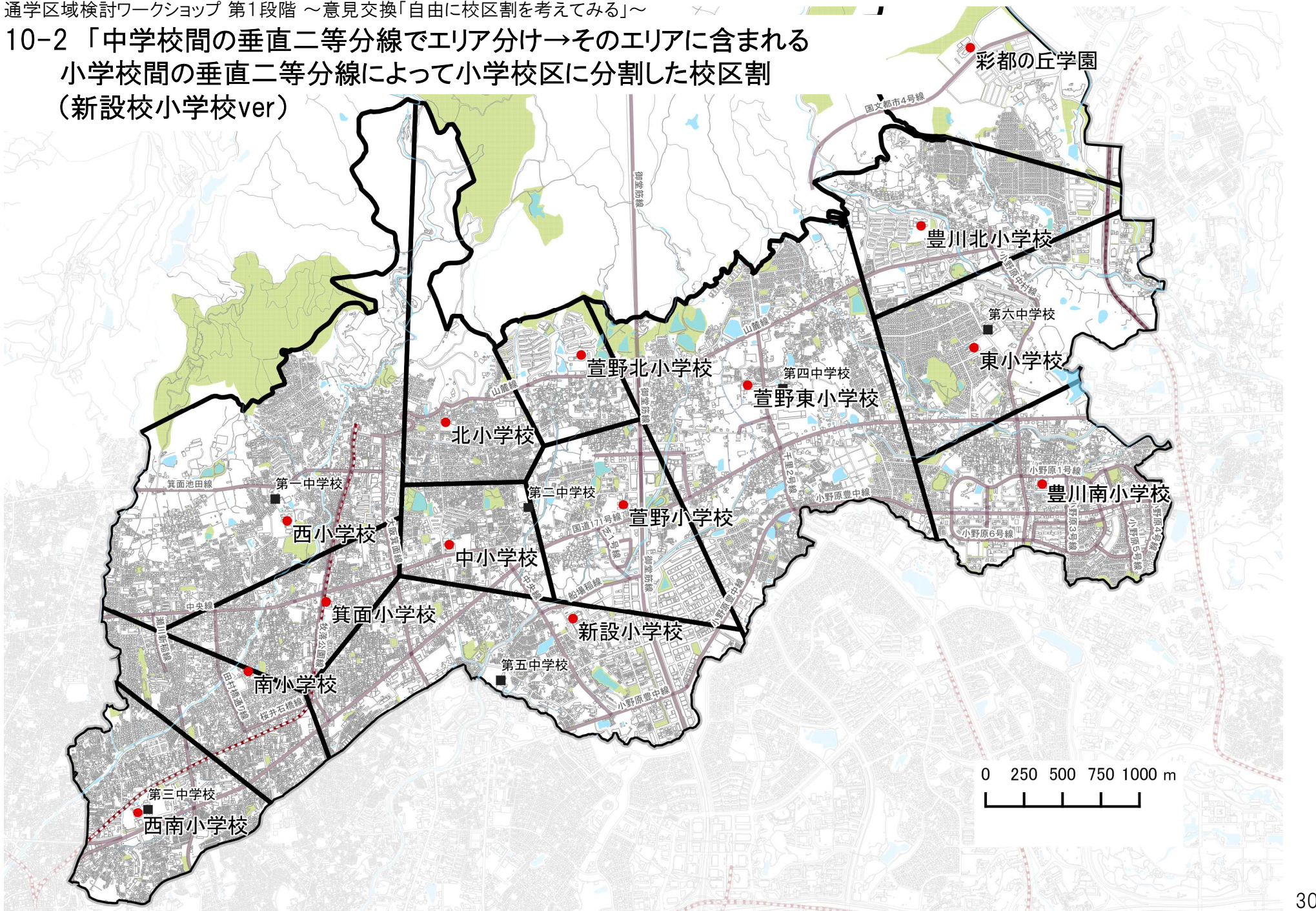
■考え方

- 新設校(小中一貫校)を含む各中学校を結ぶ直線の垂直二等分線でエリア分けし、そのエリアに含まれる小学校間の垂直二等分線で小学校区を区切った。
- 仮に各中学校を結ぶ直線の垂直二等分線で区切ったエリアを中学校区に設定すれば、一番近い中学校に通うことができる。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)



10-2 「中学校間の垂直二等分線でエリア分け→そのエリアに含まれる
小学校間の垂直二等分線によって小学校区に分割した校区割
(新設校小学校ver)



■考え方

- 新設校(小学校)を含まず、各中学校を結ぶ直線の垂直二等分線でエリア分けし、そのエリアに含まれる小学校間の垂直二等分線で小学校区を区切った。
- 仮に各中学校を結ぶ直線の垂直二等分線で区切ったエリアを中学校区に設定すれば、一番近い中学校に通うことができる。

■学校敷地面積/校区面積(m²/ha)

